

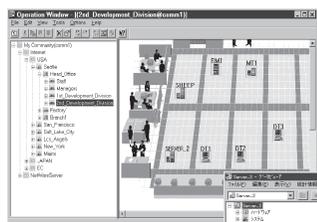
# 第8章 日常の保守

本装置を常にベストな状態でお使いになるために、ここで説明する確認や保守を定期的に行ってください。万一、異常が見られた場合は、無理な操作をせずに保守サービス会社に保守を依頼してください。

## アラートの確認

システムの運用中は、ESMPROで障害状況を監視してください。管理PC上のESMPRO/ServerManagerにアラートが通報されていないか、常に注意するよう心がけてください。ESMPRO/ServerManagerの「統合ビューア」、「データビューア」、「アラートビューア」でアラートが通報されていないかチェックしてください。

### ESMPROでチェックする画面



統合ビューア



データビューア

状態	デバイス	北極モデル	753/2	発生時刻	製品名	
電源がオフ	ONLINE	Mylex System Drive	B9F2	110119.022	1999/05/06 11:21	ESMPRO/GM
電源がオフ	ONLINE	Mylex Physical Device	B9F2	110119.022	1999/05/06 11:21	ESMPRO/GM
電源がオフ	CRITICAL	Mylex System Drive	B9F2	110119.022	1999/05/06 11:20	ESMPRO/GM
電源がオフ	DEAD	Mylex Physical Device	B9F2	110119.022	1999/05/06 11:20	ESMPRO/GM

アラートビューア

## ステータスランプの確認

本体の電源をONにした後、およびシャットダウンをして本体の電源をOFFにする前に、本体前面や背面にあるランプの表示を確認してください。ランプの機能と表示の内容については1章をご覧ください。万一、本体の異常を示す表示が確認された場合は、保守サービス会社に連絡して保守を依頼してください。

## バックアップ

定期的にハードディスクドライブ内の大切なデータをバックアップすることをお勧めします。バックアップの手順については別冊のソフトウェアの説明書を参照してください。不明な点がありましたら、弊社営業担当までお問い合わせください。

ハードウェアの構成を変更したり、BIOSの設定を変更したりした後は、オフライン保守ユーティリティの「システム情報のバックアップ」機能を使ってシステム情報のバックアップをとってください(7章を参照)。

## クリーニング

本装置を良い状態に保つために定期的にクリーニングしてください。

 <b>警告</b>	
     	<p>装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。指示を守らないと、人が死亡するまたは重傷を負うおそれがあります。詳しくは、iii ページ以降の説明をご覧ください。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 自分で分解・修理・改造はしない</li><li>● CD-ROMドライブの内部をのぞかない</li><li>● プラグを差し込んだまま取り扱わない</li></ul>

### 本体のクリーニング

本体の外観の汚れは、柔らかい布でふき取ってください。汚れが落ちにくいときは、次のような方法できれいになります。

 <b>重要</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>● シンナー、ベンジンなどの揮発性の溶剤は使わないでください。材質のいたみや変色の原因になります。</li><li>● コンセント、ケーブル、背面のコネクタ、本装置内部は絶対に水などでぬらさないでください。</li></ul>
--	---

1. 本体の電源がOFF (POWER/SLEEPランプ消灯)になっていることを確認する。
2. 本体の電源コードをコンセントから抜く。
3. 電源コードの電源プラグ部分についているほこりを乾いた布でふき取る。
4. 中性洗剤をぬるま湯または水で薄めて柔らかい布を浸し、よく絞る。
5. 本体の汚れた部分を手順4の布で少し強めにこすって汚れを取る。
6. 真水でぬらしてよく絞った布でもう一度ふく。
7. 乾いた布でふく。
8. 乾いた布で装置背面にあるファンの排気口に付着しているほこりをふき取る。

## キーボード/マウスのクリーニング

キーボードは本体および周辺機器を含むシステム全体の電源がOFF (POWER/SLEEPランプ消灯)になっていることを確認した後、キーボードの表面を乾いた布で拭いてください。マウスが正常に機能するためには、内部のマウスボールがスムーズに回転できる状態でなければなりません。マウスボールの汚れを防ぐためにほこりの少ない場所で使用して、定期的な次の手順でクリーニングしてください。

1. 本体の電源がOFF (POWER/SLEEPランプ消灯)になっていることを確認する。

2. マウスを裏返してマウスボールカバーを反時計回りに回して中からマウスボールを取り出す。

3. マウスボールを乾いた柔らかい布などでふいて、汚れを取り除く。

汚れがひどいときはぬるま湯または水で薄めた中性洗剤を少量含ませてふいてください。

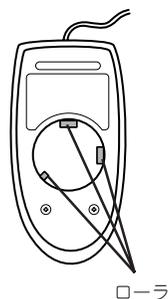
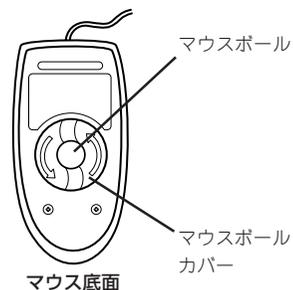
4. マウス内部にある3つの小さなローラを綿棒などでふく。

汚れがひどいときはアルコールなどを少量含ませてふいてください。

5. マウスボールをマウスの中に戻す。

手順3、4でマウスボールやローラをぬらした場合は、十分に乾燥させてからボールを入れてください。

6. マウスボールカバーを元に戻して、時計回りに回してロックする。



## CD-ROMのクリーニング

CD-ROMにほこりがついていたり、トレーにほこりがたまっていたりするとデータを正しく読み取れません。次の手順に従って定期的にトレー、CD-ROMのクリーニングを行います。

1. 本体の電源がON(POWER/SLEEPランプ点灯)になっていることを確認する。
2. CD-ROMドライブ前面のオープン/クローズボタンを押す。  
トレーがCD-ROMドライブから出てきます。
3. CD-ROMを軽く持ちながらトレーから取り出す。

### 重要

CD-ROMの信号面に手が触れないよう注意してください。

4. トレー上のほこりを乾いた柔らかい布でふき取る。

### 重要

CD-ROMドライブのレンズをクリーニングしないでください。レンズが傷ついて誤動作の原因となります。

5. トレーをCD-ROMドライブに戻す。
6. CD-ROMの信号面を乾いた柔らかい布でふく。

### 重要

CD-ROMは、中心から外側に向けてふいてください。クリーナをお使いになるときは、CD-ROM専用のクリーナであることを確かめください。レコード用のスプレー、クリーナ、ベンジン、シンナーを使用すると、ディスクの内容が読めなくなったり、本体にそのディスクをセットした結果、故障したりするおそれがあります。

